

# ENEOS株式会社

## 横浜臨海部の主な事業所

- ◆ 根岸製油所（磯子・根岸地区）
- ◆ 中央技術研究所（磯子・根岸地区）

## 脱炭素分野の取組

主に対象とする脱炭素分野（グリーン成長戦略の重点 14 分野との対応）

① 洋上風力・太陽光・地熱  
（次世代再生可能エネルギー）

② 水素・燃料アンモニア

⑪ カーボンリサイクル・マテリアル

## 取組概要

ENEOSは、石油製品（ガソリン・灯油・潤滑油等）の精製・販売をはじめとしたエネルギー供給事業などを展開しており、ENEOSグループは2040年に自社排出分のカーボンニュートラルの達成を掲げています。また、成長事業の一つとして、次世代型エネルギー供給に力を入れており、再生可能エネルギーやCO<sub>2</sub>フリー水素などの取り組みを通じて、ENEOSグループのありたい姿である、「脱炭素・循環型社会への貢献」を目指します。

横浜臨海部では、横浜市と連携協定を結んで水素パイプラインの整備を検討する他、水素ステーションの設置（横浜市内で6カ所）も行っています。更に中央技術研究所において、「再生可能エネルギー由来の水素」と「CO<sub>2</sub>」を原料とした「合成燃料」の研究も進めています。



CO<sub>2</sub>フリー水素を製造・販売する横浜旭水素ステーション  
（水素ステーション内の太陽光パネルと水電解装置により、CO<sub>2</sub>フリー水素を製造・販売するのは国内初）

